

## Bグループ 緑豊かなまちづくり活動

Bグループでは、これまで議論されてきた「美の価値の共有」などの大きな目標像を実現していくための、「身近な緑」「知るきっかけづくり」「親しみのある農」といった活動の種についてさらに具体的な活動プランを考えていきました。



### 【大きな目標】

「美の価値」・「緑は共有財産」という意識の共有

### 【活動の芽 ～アジサイ街道・百花園づくり】

- ・ 現在活動している場所の近くや、緑道内のちょっとした空いている（植物が枯れてしまった）ポケットスペースにアジサイの挿し木を植えていきたい。アジサイだけでなく、季節ごとに咲く花々を植えていく。
- ・ 挿し木だと安価に手に入り、小さなスペースなので管理のコントロールがしやすい。
- ・ やがては名所巡りとしてのめぐりんバスを運行させたい。

### 【活動の芽 ～活動している人たちを周知する看板づくり】

- ・ 草花を育てていても、花が折られたり、盗まれたり、ゴミが捨てられたりしてしまう・・・
- 毎日の積み重ねで粘り強く活動を続けていけばやがてイタズラされなくなってくる。
- 緑のボランティアの看板を置くことであまりイタズラされなくなった。今回の景観まちづくりワークショップでも看板を作りたい

### 【活動の芽 ～地域の緑・人材情報の共有化】

- ・ 自分の家の近くや区内で立派な樹木などを見たいと思ってもどこにあるのか分からない
  - ・ 活動を始めたいとき、最初は専門家の意見が聞きたい（組織化を図ることが必要）
- 二之江神社のケヤキや斉藤さんが育てているアジサイなど、地域の緑や人材を知れる場所があると良い
- 樹木などは区で調査をしているため、それらをホームページなどで閲覧できるようにするなどの工夫はできるかもしれない

### 【活動の種 ～活動を広げるために】

- ・ 新しい場所で活動を募集する方が人は集まる。（現在すでに活動している場所で新しい人を募集してもあまり人は集まらない。）
- ・ 参加することがカッコイイ、参加をすることで価値が上がるようにしなければならない。
- ・ 親がしっかりと子どもに言えば子どもは分かってくれる。親は子どもを見ている。それには地域への愛着、地域に根付く心が必要
- ・ 広報で小景観区への参加や関連制度のPRを行う。

### 【活動の種 ～親しみのある「農」】

※今回は話し合いの時間がなかったため、「農」については次回以降話し合いの議題にしていきたいと思います。

次回は、9月22日（水）10:00～ タワーホール船堀405会議室にて行うことになりました。